



# 新倉小だより

8・9月号

和光市立新倉小学校  
令和3年8月30日



つながりをもって

校長 土井 純子

40日間の夏休みが終わりました。新型コロナウイルスの感染拡大は収まらず、埼玉県に緊急事態宣言が発令されている中での、2学期のスタートとなりました。

夏、秋、冬と移りゆく季節の中で、2学期が一番長い日々を過ごします。予定されていた行事や教育活動もたくさんありますが、まずは感染拡大防止を第一に考え、状況を鑑みて変更・延期・中止等の措置を行ってまいります。

2学期も日々の健康観察の徹底、サーモグラフィーによるスクリーニング、マスクの正しい着用、換気の徹底・三密回避、給食時の黙食、そして、学習指導においては感染リスクが高い活動は行わない、リスクの低い活動においても感染対策を十分に取ながら行う等、子どもたちの健康と安心・安全を第一に、1学期よりも油断することなく徹底して行ってまいります。裏面に、2学期当初の行事における変更・中止のご案内をさせていただきました。子どもたちが楽しみにしていたものもたくさんありますが、感染防止を第一に考え、今後の日々の中で、時期や実施方法を工夫していきたいと思えます。

2学期は授業の中でもタブレットを活用していきますが、感染拡大防止のためにオンラインによる学習も実施していきます。明日、31日には夏休みに持ち帰っていたタブレットを学校に持ってくることになっています。今週の授業中に、全学年でタブレットの扱いに慣れさせ、オンラインでつながった学習ができるよう、取り組んでいきます。家庭にいながらも、学校や先生とつながっている、離れていても学んでいける、子どもたちには『つながっているよ、大丈夫だよ』という意識をもたせ、安心して学んでいけるよう、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。これから先、どんな状況になっていくのか予測できませんが、何よりも『学びを止めない』ということをお願いして取り組んでまいります。保護者の皆様にはご協力をお願いすることがたくさんありますが、どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

夏休みとともに始まった、東京2020オリンピック大会。現在は、パラリンピック大会が開催され、連日、選手たちの熱い戦いを報道で目にします。五輪自転車トラック・女子オムニウムでは和光市出身の梶原悠未さんが銀メダルを獲得しました。競技の駆け引きには、手に汗を握りました。お母さんと二人三脚で取り組んできた日々。血のにじむような努力があったことなのでしょう。素晴らしい活躍でした。また、パラリンピックの車いすラグビーに、唯一の女子選手として出場した倉橋香衣選手は、

昨年1月に新倉小に来校された方です。大きな男子選手にも恐れずにぶつかっていく倉橋選手の姿には圧倒されます。昨日の3位決定戦でも活躍し、みごと銅メダルに輝きました。目標をもって挑んでいく選手たちの勇気と努力の姿は、言葉では言い表せられない感動を覚えます。まだまだ続く競技を楽しみにしたいと思います。

